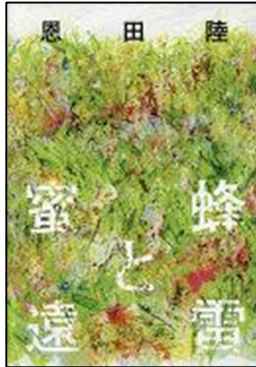


今月のピックアップ



秋の夜長に音楽を感じる小説を



『蜜蜂と遠雷』 913カ

恩田陸/著 幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。



『ジュンのための6つの小曲』 913カ

古谷田奈月/著 新潮社

友人もいない。誰からも理解されない。14歳のジュンは、彼にしか聴こえない「音楽」だけが友達だった。夏の少し前、同級生のトクが奏でるギターを聴いて、ジュンはやっと気がつく。自分が楽器であることに。青春小説。



『シューマンの指』 913カ

奥泉光/著 講談社

天才美少年ピアニストの永嶺修人と、彼に焦られる音大受験生の「私」。卒業式の夜、彼らが通う高校で女子生徒が殺害された。現場に居合わせた修人はその後、指にピアニストとして致命的な怪我を負って…。

調律師



『羊と鋼の森』

913カ

宮下奈都/著 文藝春秋

作曲



『ハルモニア』

913カ

鹿嶋田真希/著 新潮社

オーケストラ



『船に乗れ!』

913カ

藤谷治/著 ジャイブ

吹奏楽

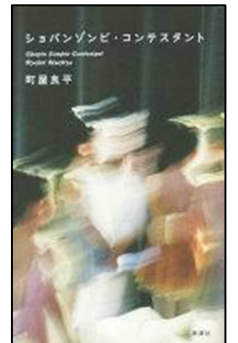


『我ら荒野の七重奏』

913カ

加納朋子/著 集英社

ピアノ



『ショパンゾンビ・コンテンツ』

913カ

町屋良平/著 新潮社



10月27日(水)～11月9日(火)は

読書週間

標語「最後の頁を閉じた 違う私があった」

